



# 3%増の大型予算 地方創生に連携し幅広い分野へ





# 全員一致で可決

平成27年3月定例会は、5日から17日まで13日間の会期で開催。

平成27年度全会計予算、条例改正、平成26年度補正予算など25議案、ほかに議会委員会条例 改正を審議し、いずれも全員一致で可決しました。

請願・陳情4件は総務産業委員会に付託し審査され、本会議において5ページの表に示す結果となりました。

一般質問には11人が立ち、町政をただしました。

## 町長の考え(施政方針)

新たな町の課題と山積した課題に対応しながら、国の新しい政策である「地方創生」に取り組んでいく。

各種補助事業を積極的に活用し、4つに重点 を置いた予算とした。

- ① 子育て支援と若者定住
- ② 健康づくりと地域医療確保
- ③ 安全・安心なまちづくり
- ④ 環境に配慮した自然エネルギー への取り組み

## 一般会計予算の構成

地方消費税交付金など 歳入 2億1330万円 国庫支出金 2億9791万円 県支出金 3億2009万円 町税 10億9364万円 借入金 3億6180万円 自主財源 繰入金 37% 依存財源 1億5201万円 63% 諸収入 2億9401万円 分担金・負担金など 地方交付税 9321万円 16億3200万円

### 全会計予算

会 計 名	予 算 額	前年度比
一般会計	44億5800万円	2.4%
国民健康保険	11億2026万円	17.6%
後期高齢者医療	1億1552万円	<b>▲</b> 5.2%
介 護 保 険	10億3944万円	<b>▲</b> 4.1%
公共下水道	3億7957万円	▲2.9%
農業集落排水	2億6688万円	<b>▲</b> 4.1%
水 道 事 業	3億8700万円	12.0%
合 計	77億6669万円	3.2%

### 議会費 7612万円 消防費 出 1億4878万円 道づくりなど 3億8592万円 教育·文化 福祉·健康 4億6193万円 15億1793万円 借金返済 5億2293万円 産業振興 6億8119万円 行政運営など 6億6317万円

### 事業 新規 に期待

# 子育て支援と 若者定住

○産後サポート事業 〇産婦検診費用補助 〇子育て支援体制づくりの推進 ○産後ケア事業 19 万 円 21 万 円 42 万 円 14 万 円

○保育料金の軽減

○婚活マッチング事業ほか 〇出会いサポートデスク・オフ ィス設置ほか 1800万円 28 万 円 22 万 円

○防災気象情報雨量計設置

〇非常用備蓄品の更新 ○防災のしおり更新 46 64 万 万 円 円

〇グリーンベルト設置

○飯島陣屋雨水排水改修

○小中学校視聴用モニター設置

〇信州いいじまマルシェ運営

○商業後継者支援 〇担い手農業法人支援 30 万 円

300万円

○飯島小学校放送設備改修

513万円

124万円

230万円

220万円

○まちの駅事業 40 96 万 万 円 円

67 万 円

197万円

〇やすらぎ公用車導入

# 環境に配慮した 取り組み 目然エネルギーへの

○自然エネルギー事業出資金

〇ゴミ減量化奨励金

1000万円 36 万 円

○中央道跨道橋7橋点検・修繕

1億6176万円

設計

1540万円

〇文化館防災機能強化

安全・安心な

まちづくり

○開業医紹介奨励金

50 万 円

101万円

○地域医療確保対策

地域医療確保

健康づくりと

# 推進 重点プロジェクトを

〇CATV放送設備更新

○社会保障・税番号制度業務 1450万円

502万円

○議場放送設備更新

◇人口対策を最優先する中

で道の駅「田切の里版」

400万円

〇町制施行60周年記念町勢要覧 制作 115万円

援し、

自立した地域づく 地域の活性化を支

りに取り組んでいくこと

◇上伊那広域消防の発足や ごみ処理施設の建設など、 効率的な行政運営に向け を評価する。

◇保育料の改正は評価でき た予算となっている。 連携による将来を見据え れている。広域行政との て事業の広域化が進めら

文化館を安全に(防災機能強化)

◇子育て支援は独自なもの >防災対策工事は評価でき となっている。

◇婚活にも成果が見え、 ルシェにも期待できる。 ている。 全体としてよく検討され

# 3月定例会

# 平成26年度補正 一度に連携し

可決しました。 額3億9371万円の 大型予算を全員一致で 道の駅・交流拠点施 地方創生事業など総

ます。 3万円は繰り越され、 設「田切の里極」建設 実施されることとなり 新年度予算にあわせて 工事費など3億746

# 主な収入源

創生関連など) 〇立木売払いなど ○国・県支出金 2億1449万円 (地方

〇ふるさと応援寄付金 など 760万円

○町債 1億6610万円 (借金) 250万円

買うものは決まったかな

# 主な使い道

(□印は地方創生関連)

□地方創生総合戦略策 「田切の里版」 2億9120万円 整備

□まちの駅整備 定 432万円

□低所得者向け商品券 660万円 698万円

口多子世帯向け商品券 273万円

口学習サポーター配置 ロプレミアム商品券 1060万円

□子育て支援遊具設置 224万円 291万円

口三鷹台アンテナショ ップ改装ほか

720万円

橋梁整備

針ケ平ため池整備 339万円

○道路除雪など

1660万円

特別会計・事業会計

会計の補正予算を全員 致で可決しました。 決算見込みに伴う5

# 主な質疑・意見

# 総務産業委員会

疑

問

ブレミアム商品券

るよう店の工夫を促す。 町 答 の波及効果は。 内での買い物が増え これをきっかけに、

料の内容は。 と創生」総合戦略委託 問「まち・ひと・しご アンケート実施。 ワークショップ開催と 人口の分析および

るよう、

むべき。

〇母子保健相談室設置 250万円 問 助対象は何か。 農業振興作物の補

2068万円 の2分の1を補助する。 栗の苗600本分

問

介護慰労金減額の

(中央道

助の内容は。 答 アンテナショップ 問 ビニールハウス補

助。 物栽培施設に対する補 など、販売目的の農作

問 活用とは。 既存グループの 担い手育成講師の 他

新しいグループの育成。

体に補助して実施。 問 いハード事業を、他 業の補助金内容は。 町が主体になれな 地方創生先行型事 団

業が提案されているが、 実施に当たっては、 〇地方創生の様々な事 容を精査し効果の上が 慎重に取り 組 定着を図る。 上と、 業の内容は。

社会文教委員会

主な質疑

内容は。 減少による。 要介護対 象者 数 0

の改訂。 た「だっこしてぎゅう にする。 の内容は。 問 子育て情報を冊子 子育て支援情報誌 以前に発行し

問 母子相談室の建 設

また、保健センター 談室として使用する。 計画は。 室の修繕も行う。 ースを間仕切りし、 役場南入口にスペ 和 相

学習サポー ター 事

数学教科の 家庭学習習 学力 慣 向

# 作農家を元気に 1

## 請願・陳情の本会議審査結果

項目	提出者	付託	結 果
<b>陳情</b> 稲作農家の経営安定を	JA上伊那	総務	採択 賛成11 - 反対 O 意見書提出
<b>陳情</b> 山村振興法の延長と施策拡充を	   南信地区森林労連 	総務	採択 賛成11 - 反対 0 意見書提出
<b>請願</b> 集団的自衛権の法整備に反対	いいじま九ちゃんの会	総務	<b>不採択</b> 賛成 3 - 反対 8 賛成 憲法の拡大解釈をすすめるものだ。 これまでの議会議決と矛盾。
<b>請願</b> 地方自治の尊重を	髙橋和惠氏	総務	不採択 賛成 3 - 反対 8 賛成 沖縄に限らず、地方自治への圧力だ。

### 発 議

項目	提出者	内 容	結 果
飯島町議会委員会 条例の一部改正	久保島 巖	町の組織機構改革に伴い、議会委員会の所掌事務変更。	赞成 11 反対 0
地方高速道路料金 割引率復活を	浜田 稔	公共交通の不便な地域での高速道路料金の値下げを求める。	<b>賛成</b> 11 <b>反対</b> 0 意見書提出

ご覧ください。

町基本構想審議会条例

は、

県施工のトイレを

町が発注することで事 町施工施設と一括して、

業効果を高めるもので

# 3月臨時会

主な使い道

○道の駅設計監理・エ

事費

3876万円

等の一部改正 審議会などの委員の 町環境保全審議会 関係す

収入源

業の他には無い。 事業で補助対象から外 れたものはあるの 地方創生(先行型) 職業紹介事 が。

条例および町上下水道 る町基本構想審議会条 見直しに伴い、

〇地方交付税

8280万円

えた。 財源を補助金に組み替 金は、従来の「心の相 問 教育次長 変わらない。 談員」設置と異なるか。 学習サポーター賃

質 疑

を改正しました。 運営審議会条例の 般会計補正予算

会が3月30日に開催さ

条例案1件、

予算

平成27年第1

·回臨時

案1件をそれぞれ全員

致で可決しました。

のです。 象事業の確定に伴うも 付税・事業費・補助対 主な補正内容は、 交

議会構成を決定しまし

また4月1日からの

た。詳細は10ページを

道の駅「田切の里 仮称

〇職業紹介責任者講習 多子世帯向け商品券 ○まちなか活性化 〇アンテナショ 会参加 給付 賃金 金 1 ▲10万円

# 補正総額5480万円

部

○学習サポー 213万円 180万円 ター 97万円 コップ運 63 万 円 補助 ほ

全会計を全員一致で可決しました。 平成27年度飯島町各会計予算の分割付託分を審査し、

の会計予算 道・農集排 水道事業 公共下水

# 総括質疑】

ろがさらに報われるよ 利用割3分の2だ。搬 うに工夫を。 入ごみ量が少ないとこ は人口割り3分の1、 清掃センターの負担金 算計上している。一方 図るべく独自事業に予 問 当町はごみ減量を

町長 は広域へ 負担金の在り方 働きかけてい

町長 減量することは将来の ると大変大事なことだ 問 コストダウンにつなが が今後の考えは。 や資源の再利用を考え ごみ減量は環境面 資源化でごみを

設の る。 会の機会を設けたい。 減らすこととなった。 日から118t/日に 4月に入ったら説明 能力を134t~ 今回新ごみ処理施

入の予算にも表れてい のトナーや紙の共同購 際に進んでいないので 問 はないか。プリンター ペーパレス化は実

問 TV放送設備更新は見 議場カメラやCA る。 町長 る。 取るべきでは。 では部分的に進んでい んでおり、 思い切った政策を 以前から取り組 職員の会議

がある。 をまとめていきたい。 会議では難しいところ 庁外の人を交えた 新年度考え方

農家農地を守ることは必要。

生産過剰で米価が低迷し

7

41 る。

町の活性化に明るい希 な補助金活用を評 書作成業務など、 管橋の耐震診断・ ンテナショップの運営 上げている。 ○定住促進では成 ・「まちの駅」など、 婚活・ア 深果を :価す 有利 概要

-パレスの推進を

いか。 積もりが高いのではな

陳

情

審

杳

町長 討をしていきたい。 設置までには 検

# 賛成討論

取り組みとして、 することを期待する。 が施設を積極的に利用 展に地方創生の先駆的 される。 4千万円の町費が投入 ○道路維持費を拡 〇「田切の里飯」に1億 たことを評価する。 し、当初予算に計上し 町活性化と発 行政 大

型・環境整備によく目 ○農林予算の中央道水 配りされている。 ○全体として生活密着

択 陳情 国へ

### 択 陳情 国へ

# 稲作農家の経営安定を

内容

政府備蓄米制度改善や主食米の

消

輸出促進対策を

費拡大・ 賛成

# 山村振興法の延長と施策拡充を 提出者 賛成 の確立など内容の充実を。 南信地区森林労連

内容

賛成

5

反対

0

原質

浩美氏

山村振興法の延長および地域林業

方そのものであり、 議している。 当議会でも森林林業重視を議員発 森林林業は地域の在り 恒久法にすべき。

望が見える。

提出者 JA上伊那

御子柴茂樹氏

5

反対 0

# 賛成

## いいじままち 議会だより 69号

# 

の現場を調査しました。 平成27年度予算関連

# ▼本郷原井用水 七久保柏木地籍にあ

る水路トンネルを補修

ので、 修が急がれます。 前に人力で掘られたも します。100年以上 「県営ため池等整備 老朽化も進み補

事業」による工事で3 年計画。 町負担は13%

> の625万円です。 ◆柏木工業団地 造成現場

性化が期待できます。 実現に向かい、 員を募集する予定です。 を建設し、約30人の人 待たれた企業誘致が 土地整備は最終段階 初年度は工場1棟 町の活

# ◆道の駅 「田切の里

切 南割地籍の建設 仮称

田

予定地 られています。 園を予定しています。 と景観に配慮し、 側駐車場の斜面は民家 で排水溝の工事 は、 土地 が進め また南 造成 果樹

# JR飯島駅

人口対策問題は

不採択

反対 いこと。

憲法9条の範囲内と閣議決定

ゆだねるべき。

に明記されているので、

国会判断に

賛成

憲法解釈の範囲をはるかに踏

み越え危険な領域に達している。

主な意見

\*

請願

内容

賛成

1

反対

4

集団的自衛権の法整備に反対

閣議決定に基づく法整備を行わな

国へ

紹介議員

駅舎に入る。バリアフ 声でした。 リーにしてあげたい』 『高齢者が駅入口3段 たりにしている切なる 休みやすみしてやっと の階段を上がるのに、 駅員さんの話では 常に現場を目の当

らえません。 ているので乗客に活用 パンフレットも置かれ でないと受け入れても が3000人/日以上 していますが、 前から町もJRに交渉 してほしいものです。 駅舎内には町の情報 利用客

バリアフリー化は以

改修が急がれる手掘り水路

提出者

いいじま九ちゃ

、んの会

高橋和惠氏

浜田

町商工会館で2月6日、

# 町建設業の将来は

商工会建設部会と懇談 しました。

### 界は、10年後半減 安全安心のために 広域連合の事業に りをやめてほしい。 も公共事業の値切 町業者の参加機会 してしまう。早期 戻ってくる策が重 都会に出た若者が 商工振興に力を入

提出者

髙橋和惠氏

坂本紀子

紹介議員

に人材育成を。

請願

国へ

内容

賛成

1

反対

4

農振除外を進め、

# 地方自治の尊重を

理由も定かでない。 反対

の尊重を求めるのは飛躍だ。 予算案削減を白紙に。 反対 沖縄のことをもって地方自 沖縄知事と首相の面 情報も乏しく実際の予算削 談実 現、 振興 減

だ。これがまかり通っ 惑を加えたとしたら、 の問題ではない。 政府が地方交付税に政 たら沖縄だけ 地方への圧力 公治的 思

交換となりました。 将来を見据えた意見 有効活用など、

町の

スやリニア新幹線の

ほかに伊南バイパ

れるべきだ。

不採択

護保険条例改正を審査し、 平成27年度飯島町各会計予算の分割付託分および介 町事業の現場調査をしました。 全員一致で可決しました。

# 飯島町介護保険条例 賛成討論

る。 る。 保険料設定となってい に努力がみられ賛成す 低所得者層に配慮した 玉 また介護予防事業 制度改正を受け、

# 後期高齢 会計予算 介護の 国保

ある。

ちるというメリットも

洗剤の方が、

汚れが落

総括質疑

問

町長 で、 ら介護保険のサービス 年度以降検討する。 問 ービスをみるなかで来 飯島町はどうか。 ムの食事補助を行うが、 特別養護老人ホー 宮田村は新年度か 町全体の介護サ 破損の心配もあるが検 は貴重な歴史資料であ

剤を使っているが、 物質除去・アレルギー 鹸を使うべきでは。 問 究している。 食材の配慮・化学物質 の対応などしている。 石鹸使用も現場で研 学校給食で合成洗 給食で放射性 ただ合成 石

教育長 知らせるため、文化館 すめ、 整備は進める。 で定期的に文化財を展 示したらどうか。 陣嶺館の整備をす 飯島町の歴史を 陣嶺館前庭の 文化財

は。 ホ |-問 ムを設立する考え 障がい者グループ

町長 しいと考える。 である。 これからの課 町単独では難 題

用すべきでは。 たに建設するのではな ーなどの公共施設を新 既存施設を有効利 子育て支援センタ

も含め近年中に検討し なんらかの施設に併設 新設せずにやりくりし 子育て支援センターは 維持していく。 な修繕を行い、 既存施設は必要 大切に ただ、

がいデイサービス」 は 症予防のための 引きこもり・認知 「生き

展示による紛失や

討する。

対応を。 男性の出席が悪いので

問

町長 園で、マレットゴルフ していきたい。 デイサービスなどを行 と入浴をセットにした 男性の参加を増や 新年度から 越 百

る。

子どもたちからの

コーダーを贈ってくれ

お礼の手紙を届けるな

感謝の気持ちや贈

町長 産 所が欲しい。 るために、町内に助産 ケア補助を効果的にす 医との連携もないと助 も oあり、 「師確保ができず、 妊婦さんへの産後 出産時のリスク また産婦人科 町

教育長 音楽会に宮澤

町長

医師開業支援補

助や奨学金制度もある

ある。今後も大事に生 さんを招待したことも

していきたい。

弁当で対応していく。

ご縁をたよりに

もらいたい。

を教育現場で生かして 呈者のふるさと愛など

単独では難しい が毎年子どもたちにリ ミヤザワフルート

> 越百園 ・マレットゴルフ場

町長 組むべきでは。 将来を見すえ、 社協では、

組むべきだが。 せでなく、 問 る。 方を含めて検討してい グループホームに取り 会福祉協議会としても 医師確保は他人任 自らも取り あり 社

状況の現場を調査しま および平成26年度事業 平成27年度予算関連

修・大ホールつり天井 性を認識しました。 分にサビが出てきてお などの大規模なもの。 創作室のエアコン設置 の補強・冷暖房・小ホ 文化館の外部壁面の改 ルの冷暖房・読書室 天井裏に入ってみた 吊り金具の溶接部 早急な補強の必要 難所となっている

# () 島保育園照明工事

は、 傷保育園の保育室 昼間電気を点けて

> 育室とも照明を2器増 できていません。 し、LED化します。 各保

# 歴史資料館飯島陣屋

用します。 わ てある旧役場庁舎に使 います。 石を敷く工事などを行 ぬ れていたものも再利 かるんでいたので 庭に雨水がたまり 陣嶺館に置い

も十分な明るさが確保

しました。 急ピッチで仕上げ 査

囲むように配置されて 利用した多目的広場を います。 旧コスモ21の屋根を

ス・グループホーム・ 診療所・デイサービ ム・小規模多 有料老人ホー

ケアセンターいいじま 機能・ います。 屋根を連ねて 動広場などが 平成27年度 健康運

ます。 子店の出店も ホールや洋菓 入店の多目的 画さ これてい

場・テナント

は地域交流広

# ケアセンターいいじま

協総合ケアセンター 工事を行っている「生 いじま」の状況を調 4月オープンに向け

県坂祝町議会を、1月県四日市市議会と岐阜

り組みをしている三重

全国でも先進的な取

# 四日市市議会は

ます。 画配信に取り組んでい 会もインターネット録 また本会議・常任委員 す。通年議会制を採用。 秀賞を受賞されていま マニフェスト大賞優

を図っています。 催するなど、市民参加 ティミーティングを開 定例会前に4箇所でシ 募して意見を求め、各 市議会モニターを公

した。

す。 極的に取り組んでいま 例の制定・改正にも積 議員提案による政策条

が開催できる制度。 \* 通年議会 会期が1年

良いことずくめで、 安価に取り組めるなど、

早

急に導入すべきと、

しました。

13日・14日に視察研修

# 坂祝町議会は

局・議員間での情報の 化しペーパレス化を進 共有化が図れ、 めています。町長部 を貸与し、資料を電子 り組んでいます。議員 全員にタブレット端末 議会改革にいち早く取 ICTの活用による

専用サイトを立ち上げ るようにしています。 届け・研修や図書購入 ル共有化・会議の出欠 資料授受・スケジュー 庁内の無線LANおよ 申し込みなどもでき 無料のソフトで議員

びWi-Fiスポッ も無料とのこと。 を使用するため通信 もランニングコストも ۲ 料

議会活性化に生かして 会・議会の見える化 にしました。 いかねばと決意を新た 示唆を頂きました。 今回の視察研修を通 更なる開かれた議



## 法構成がとうる 平成27~28年度

臨時会が3月30日に開催され、議長・副議長の選挙、議会選出監査委員・各常任委員会 などの変更がありました。4月より新しい議会構成で任期後半が始まりました。

## 副議長あいさつ

竹沢 秀幸

たさ町決町めせ民定 oせ、 民定議 取り組んでまいります。

「取り組んでまいります。」

「民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映民の皆様の意思を町政運営に反映 を 視 権限 価祉の向上の 政運営に反映 権限を発揮し、 を発し すとと 意思

## 議会三役



堀内 克美 議会選出監査委員 竹沢 秀幸 副議長 松下 寿雄 議長

## 議長あいさつ

松下 寿雄

い得 いっし時 ます。 と思っております。 て て代戦 でありまりま

ながら、議会活動を行って参りた残された任期を、町民のご協力を 行くのが議会の仕事であると思行ける町づくり、その一端を担 9。住民が幸な四内外を問わず がず大変 せに暮ら

## 社会文教委員会



竹沢 秀幸 堀内 克美 北沢 正文 三浦 寿美子 中村 明美 委員長 折山 誠 副委員長

## 総務産業委員会



松下 寿雄 坂本 紀子 橋場みどり 浜田 稔 久保島 巖 委員長 本多 昇 副委員長

## 議会広報委員会

委員長/浜田 稔 副委員長/橋場みどり

委員 / 本多昇 北沢正文 折山誠 竹沢 秀幸

## 議会運営委員会

委員長/北沢 正文 副委員長/坂本 紀子

委 員/久保島 巖 浜田 稔 中村 明美

食馬町の 人コセン成少 17 今後9 生行すいいかであ 高齢化い近日か中で 高齢者にわるしいサブイリ 進めてもいったです

駅前で行われていたイルニ ネーションがすごくよかたの で来年も続けてほしいでむ 駅を普段からきれいにしてお いてほしいでも

\*一銭会だがりを読んで 断のこと少し分かります。 戦員なばの考込も必然に 「引引了、多くの方に読んではしい です。

老々介護口益々増加ける 对策17?

後分か好る向もなく 以570 ACTITUSH 一般質問日以空色加物

与田切公園にはなかなか95付ず イルミネーションも見ることがでさなからたり にぃたんですが 身近な馬尺になり 高校の姉などを待っ時などに見れて とても良いと思います。馬尺も明3くなり 一石二鳥でいいく思います。来年も や。マいただけるのなら、 ぜひ、ぜひ。 や。てもらいたいて!! ず。 イルミネーション きれいで本当に良いと思い ますとと

> 雪の日に塩がしをおのか 少しおそいような気がします。 登す枝の時に雪がのころいて たいななので表前の言かせも 時間かあるとき少してもいいのて やってくれるとありかしたいです。

議会做此如 中町,福水安置

ようこそ飯島町へ

町「議会だより編集特町「議会だよりに、1月23日交流しました。日のは「年間40日もかけて議会だよりを手作りしている愛知県東郷がっている愛知県東郷がっている愛知県東郷がっている愛知県東郷がっている愛知県東郷 遷と編集方法をプロジ 当町議会だよりの ている愛知県 5 3 号 県東郷でつな

ができました。 財政豊かな東郷町で は、、、本直な意見交換 など、本直な意見交換 など、本直な意見交換 ができました。 換情確で

ました。 意見交換をしました。 意見交換をしました。 クターで紹介し

1

# 東郷 町議会が視 広報委員会以祭に来庁

一般質問

# ここが聞きたい

# 11議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

久保島 巖 避難勧告	基準はできたか	P13
中村 明美 交付金	先を見極めているか	P14
<b>橋場みどり</b> 女性議会	社会参画の機会に	P15
北沢 正文 こどもの教育	学力の保障は	P16
堀内 克美 道の駅「田切の里※」	どう期待をしているか	P17
竹沢 秀幸 東京飯島会	将来見据え復活を	P18
坂本 紀子 道の駅「花の里いいじま」	利用団体の問題は	P19
折 山 誠 子育て支援	負担軽減は進むか	P20
本 多 昇 職員定数	定員管理の見直しを	P21
三浦寿美子    介護保険	制度改正への対応は	P22
浜 田 稔 ごみ処理施設	安い焼却炉に	P23

# 追跡

# あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後のゆくえ

## 平成26年6月議会 一般質問

- 問 大規模災害時に民間企業から物資 支援を受ける協定を。
- 答 JA飯島スタンド移転にあわせ協定を結ぶ。



## 平成27年3月に協定締結



## 平成26年9月 議会全員協議会

### 行政への意見

役場入り口を開放的に改造し、接客窓口を分かりやすく。

その後

## 平成26年12月補正予算に計上

平成27年3月に完成。



### 久保島 巖

不可能だが、

などで長期化には無理 能力や物資の供給体制

避難所の指定

められる。

なく、選択と集中が求

けている。

しかし収容

課題は山積している

あれもこれもでは

の避難的施設と位置づ

集会所などは、

初期

危険地域から外れたの

本郷公民館は

安心してもらえる。

問

県の防災リーダー

# 基準はできたか

### 4月から施行する 町長

0

)雨量計や土砂災害情

災会長にしては。

防災リーダーを自主防

町長

現在役場職員も

おく。

でもあるので、

橋幸夫

県支援金の最終年度

目のない支援に力点を

含め27人になっている。

新年度予算の4カ所

はかり、

4月から施行

るべきだが。

勧告基準を今年度中に

9月議会で、

制定すると答弁があっ

進捗状況はどうか。

町の防災会議に

報などをあわせ考えて、 町長が発令を判断する。 データ公表もしていく。 今後ホームページで

避難所には一時 的 要で、 考えたい。 リーダー間の連携も必 何らかの組織も

う点は検討を要する。 自主防災会長にとい

どうなる

うにすべきだが。

安心して避難できるよ に1万人の収容ができ、

合うか。 ごと創生」 にどう向き 「まち・ひと・し

避難勧告

戦略を盛り込む。 めをかけるための重点 町長の考えは。 人口減少に歯止

議会」を創設し、 を防ぎ、活躍の場を作 つながりで意欲の低下 が増えつつある。 「防災リーダー連絡協 継続性を保つために、 横の 定住促進の強化、 ら をつけていく。 的にはならな 対応した雇用の確保、 出産・子育ての切れ 特に若者人口 なくてよいも その点はメリ 41 のはな 減 結婚 少に カリ

町長 使ってやる事業が今後 で財政規模も縮小し、 のような、交付金を 事業拡大で大丈夫か。 硬直化が心配される。 人口減少が進む中 平成26年度補 正

超えることの無いよう 業には使えなかった。 ラの長寿命化には対応 また実際にはハード事 もあるとは思えない。 ていかねばならない 重に進める。 健全化指数の範囲を インフ

# コンテストを

B

が見えないが。 の平成2年度普及計画 愛~いいねいいじま」 & ダンス 「ふるさとの まちおこしソング

る橋幸夫さんと相談し 町長 越百大使でもあ 層で講習会などに取り したらどうか。 さんを審査委員長にダ ンスコンテストを開催 それに向け、

組んでもらえば良いが。 可能であれば是非 町民各

及を図りたい そうした取 学校では平成 り組 みで

ている。 取り組むことが決まっ 27年度に取り上げて 康福祉大会には、 飯島小では全校で また6月の健 中学

おり、 13 り組みを進めていきた 取りながら、今後の取態や現場の思いを汲み スパフォーマンスの出 演も決まっている。 生の文化系部員のダン 有 効な教材と捉えて 子どもたちの実

以上3件 質問



広がるといいね



中村明美

先を見極めているか

# 交付金

産業・観光そして人づ 各広域連合との連携や 住 民の団結力と同時に 4つの基本目標を焦点に

予算案では地方創生予

くりも大切だ。

問

国の2015年度

関 町長 有識者を招くことも考 な造詣の深い人の活用 知識の活用を考えては。 町の将来を大きく左右 として派遣するとある。 問 もしていきたい。現在、 実践することが基本だ。 住民が自ら知恵を出し する戦略であり、専門 員などを首長の補佐役 下の自治体に国家公務 方、外部のいろいろ へ打診中である。 中央省庁や関係機 国は人口5万人以 町の形づくりは 国

町長

人口ビジョンを

思うがどう考えるか。

見極めることにあると

**るのか」を、しっかり** 

付金の先にある何をす

事なことは「当町は交

握っていると思う。大 住民の団結力がカギを 展望を描く知恵と地域

町の自立には、将来

となってほしくない。 **たから〇〇をやるか」** しかし「補助金が付い 算が重点配分された。



庭園整備いそいで

にも期待している。 ともに町との橋渡し役 遣する。 本省に町職員1人を派 4 「月から厚生労働 本人の勉強と 省

> 土に関心を抱けるよう、 また幼いころから郷

問 地方創生戦略にもある。 の歴史を学ぶことは、 子どもたちが郷土

④安心な暮らしを守る

また戦略では、

地域

遣も考えている。

を活用し、

公務員の派

「創生人材支援制度」

③若い世代の結婚

出

産・子育て

②定住促進

①安定した雇用の

創出

焦点をあてた。

定め4つの基本目標に

の整理を。 陣嶺館庭園の石材など

教育長 飯島陣屋の外構工事に 館内に児童向けの解説 展示を加えては 石材は来年度

利用する計画。

陣嶺館

説明員を配置し、学習 面は進めていきたい。 に応じた教材として当 解説展示ではなく、 辺の整備も進めたい

町 長

# 保育環境の 更なる充実を

低い18%。 あるが第5階層は一番 差は千数百円程度。 る。第5以外の基準額 から6200円も上が 1万8700円。 0円未満の第5階層で、 601円~9万700 所得割課税額が4万8 3歳以上児の基準額は れていると思えない。 を図るため、 区分で保育料との均等 問 た軽減率は平均23%と 層区分を設定」とある。 しかしバランスがと 町は「国にはない 独自の階 第 4 ま

中 層区分より細分化した。 教育次長 今回の国階 った理由は。 でもいちばん人数の この基準額設定に至

> した。 額に努めた。 慮しながら最大限の あまりつけないように 多い階層間 町の財政状況を考 また全体バラン 0) 金額差を 減

聞き検討したい。 後運営審議会で意見を なかった。ご指摘は今 けており特にご意見も 保育園運営審議会にか 今回の改定は2月に

など検討しながら進め 材料は木材も含め財源 保育園に設置する予定 に七久保、 めるのにも効果的な遊 う。また身体能力を高 どもたちに感謝の心を める。寄付金活用は子 3保育園が望んでいる ま応援基金」を活用し 問 教育次長 具であり迅速検討を。 養うのに効果的だと思 **「うんてい」設置を求** 31年度に飯島の各 「ふるさといいじ 29年度に東 平成28年度

以上2件質問



## 橋 場 みどり

「小さなジェンダー」

啓発活動・支援が大事

カラーを反映した

地域の独自

# 社会参画の機会に

# 町長

# 今後の検討課題

どう変わったのか。

『女性に役をもって

その後の啓発計画は

ておらず、普及啓発活 だが、意義や目指す方 ように思う。男女共同 認識している。 動が必要なことは十分 向・姿が十分理解され しなくてはいけない。 るのかどうか、 参画を課題と考えてい さの一端が表れている いう低さに、関心の薄 回答率35%と 分析を

ル を設けた。 テーマ・ いいじま」にコーナー る。 る。漫画家の段丹映がをして呼びかけて 夕の作成などの活 平成25年から「広報 男女共同 の4コマ漫画 課題· さまざまな 参画 用 語 用 力 0) 難しい。サポートにあ たっては、 り組みが進むような

町らしい推進に取り組 りつつあるので、 んでいく。 いう認識が徐々に広が 大事な課題であると 飯島

アピールが必要だと言

う結果が出ている。

住民アンケートからも、

「男女共同参画

進んでいるが意識は薄

思う。

中でも、

女性の登用は

載し啓発を進めたいと

町は県内市

町村

も好評で、

引き続き掲

いないからだ。 れられる環境が整って われている。なぜ断る この言葉は、 いっても断られる。』 か、いまだに受け入 いつも言

の

教育長 事会、 付けを地道にやってい 講演会などの機会を通 めていくのか。 の環境づくりをどう進 自治会長会、館長・主 女性が輝く社会実現 強制的な進め方は 女性の役割や位置 講座・講習会・ 今後も耕地・

女性議会

げ、 体的な声が、 考の場に、 供していく。 その声を大事に取り上 から上がってきている。 員を加えてはという具 んにも学習の機会を提 地 併せて団体の皆さ 区次年度の役員 女性選考委 地域の人

ら増やすべきだ。 場や機会を地域社会か また女性も町政の仕 活躍できる女性の

> め とも必要だ。 意識レベルを上げるこ 組みに関心・理解を深 社会参画に対する

> > 民要望や弁明の場であ

女性議会が単なる住

41

か。

るというだけではい

か

教育長 る が。 「女性議会」を提案す 良い提案だと

がなものかと思う。

今後の課題とする。

思うが、

意義・目的を

米俵マラソンに

行政支援を

が大事。 づくり協議会」や 明確にして進めること 町長「いいちゃんまち 女共同参画懇話会」の 「男

中で十分できるのでは



広がる女性議会(灘町HPより)

町長 問 引き続き支援をしてい 状効果でつながるよう、 業の振興を各方面に波 しっかりして、 していきたい。 ているし、これからも がら、様々な支援をし くように思いを込めな ントに、町が一つにな も見込まれるこのイベ 始めており、経済効果 な支援を望むが。 り応援していけるよう 町のPRの推進を 全国的に注目され 将来永続して行 観光農

以上2件質問

り支援金の申請もして さらに県の元気づく



北沢 正文

# 教育

学力の保障は

# 50

育をどのように行うの 問 町の未来を託す教 学習サポーター配置で

問

地域の宝である町

取り組んでいる。 学校は教室を出て地域 きい。そうした意味で その影響がきわめて大 が重要な要素、 成には子供が育つ環境 に向けた多様な学習に 自己概念の しかも 形

教育長

27年度から学

\*学力保障 全体学力の底

をどう行うのか。

ゕ゚

の子供たちの学力保障

上げと学力格差の縮小

習サポーターを中学校

たい。 の重要性を訴えていき 協力が不可欠である。 家庭や地域の皆さんの を愛していくためにも、 教育委員会としてこ 子どもたちがこの 地

育を共々に進める。 もを真ん中に置いた教

ゕ゚ 委員会と一致している 問 町長の認識は教育

使って、

学習サポータ

休日や放課後の時間を

ックする。

ゆくゆくは

教科の家庭学習をチェ

教育長

中学校の主要

役割は。

問

学習サポーターの

いる。 町長 認識は一致して 新年度でも子ど

きたらいいと考える。

が支援する方向がで

習慣化のためである。

家庭と学校は、子ど

ちの学力定着を確実に

に配置する。

子どもた

すること、家庭学習の

すこやかに育ってね

育委員会共々手を携え を受けられるよう、 もたちがより良い教 てやっていく。 教 育

計画行政のあり方 人口減時代の

問 現在の人口と基本

るので、

受け皿の行政

向にあり、3月現在で増減を含めると減少傾 増減はプラスに転じて 町長 は人口目標と大きくか 策の実践に伴い社会的 構想との違いをどう評 いる。全体では、 価しているか。 定住促進重点施 自然

> べきだが。 問 な人口の姿を目標にす 後期計画は実質的

教育長

る。 しが必要と認識してい 町長 人口目標の見直

町

独自の新しい戦略

期待值、 すべきものと思ってい 人口目標を論議し設定 定住促進施策の中で、 子育て支援や

> 国も地方も挙げて論議 になることへの対応は、

可避。 町長 では、 問 めることは難しい。 少傾向に行くことは不 受けて町長の所見は。 れている。このことを 問題研究所の人口分析 などの要因分析がなさ 国立社会保障人口 自然減を食い 全体としては減 若い女性の減少

帰があるとの統計もあ の若い人は地方への回 ようにしていく。 て減少につながらない 転出には施策を講じ 最近 町長 問

努力を行っていく。

け離

れている。

金での取り組みは。 なされているか。 への影響の研究討議が 問 具体的に上下水道 騎馬型から肩車型 支える側の負担 人口減少と生活費 料

く。 上を、 入率の向上を目指し 寿命化や経営効率の している。 上水道は、 下水道は当面 機器の て 加 向 長

より対処していく。 増と経営効率の努力に 定住促進による人口 町民の理解を得る

には、 有は必要であり、 公開がもっと必要では、 問題・ 分析内容の情報 課題の共

以上2件質問



克美 堀内

# どう期待をしているか

### 地域課題の取り組みに 町長

えたか。

組みを町長はどうとら

00 88

地域の自主的な取り

声があった。

ンケートでは、

田切地区の住民ア

優先的に受けられ

みは、 町長

町総

合計画の

地域発の取り組

「みんなで知恵を出す、

駅は、 して高く評価している。 汗を流す町づくり」と に認定された。 スタートしたこの道の |重点道の駅| の一つ 「重点道の駅」とは 地域の取り組みで 全国で35カ所の

何か、 あるのか。 また優遇措置は

道の駅

「田切の里線

できるものが認定さ 駆 域活性化 的 な取り組みが期 を図るなど

施設建設に支援策

する新し

い制度である。

0カ所ある道の駅に対

全国に約

1 0

> 2 分の なる。 で建設できる。 補助残を100%起債 50%が償還補助と 実質25%の 1補助を受け、 資

イパスを通過道路とせ 高齢化対策を見越しバ

有効活用を求める

援を行っている。 に対する運営支援は。 えた今も、 いじま」は13年目を迎 道の駅「田切の里 道の駅「花の里い 町は運営支 —— 仮称

は。

人口対策となるが考え

町長 どと考えるが、 測される。 当初は厳しい状況が予 況とも相談し支援する 全線開通後3年をめ 自主運営だが、 経営状

産業振興課長 国から

業に就職することで の大学で学び地元の企 足し骨子が示された。 伊那谷自治体会議が発 大学を誘致し、地元 リニアに対応する

町長 方にとってインパクト は少子化の中で難しい。 があり、 組 究機関の誘致は、 大学の移設や政府系 んでいく。 大学の設立誘致 地域全体で取 地

道の駅の完成予想図

町長 の一つとして取り組 法を参考に、

以上2件質問

町は他の自治体に

は。 ターンの一つであると ている。 り組みで、 孫ターンに取り組んで 先駆けた移住定住の取 孫をターゲットにした、 **今後、** 一解している。 孫ターンは、 地元出身者の 評価を受け 田舎に

リニアバレー構想 、の対応は

ある。 る地域づくりが大切で る人が対象であ いに期待ができる。 魅力を感じてもらえ Ď, 大

うか。 がある。 る。 会は盛んに行われてい であり、 問 の提供など有効な方法 の配布やIターン情報 でいきたい。 その機会に町広報誌 孫の親は町出身者 提案のあった方 親世代の同級 検討してはど 人口対策

じいさんばあさんの

Ι

# 東京飯島会

将来見据え復活を

再誕生を願う

町 長

竹沢秀幸

する。 り、 年リニア新幹線が開通 リンピック、2027 シェの本格営業が始ま 2020年東京オ 信州いいじまマル

会」復活を。 休業状態の「東京飯島

にかけ、 町長 表者が訪問し、ふるさ 会・農業団体含めて代 毎年町から行政・商工 活動も盛んに行われた。 以上の会員を擁して、 昭和3年代から4年代 「東京飯島会」は 最大100人

将来を見据え、開店

大変盛んであった。 もしてもらった。小池 とである飯島への訪問 世代も1世から2世 早稲田町長当時は その後の末永町 問

た。 状態となり今日に至っ な流れの中、 自然消滅

問

なってきた。 高まっている。 時間的な短縮も可能に 利便性も格段に上がり、 今はふるさと志向が 。また、

る。 心から願う。 ろな面でメリットとな 復活することはいろい 将来を見据える中で 飯島会の再誕生を

もらい、 もらえる人を紹介して していきたい。 今後、 前向きに研究 窓口になって

町民議論で 創生戦略を

て議論し作り上げてい 町民参加で一緒になっ 人口減少対策は、

へと移り変わり、

大き

町長 した。 調査アンケートを実施 くことが必要であるが。 昨年、 住民意識

う。 は、 汗を出してほしいと思 発想で、 どうしても住民の そこに知恵と

を聞く。 ョップも計画し、 対策懇談会やワークシ 若者に絞っての人口 意見

4月以降着手する。

当施設を拡張するのは だが現状は手狭であり、 困難だ。 の事業効果は高い。 子育て支援センタ

児童が生じている。現 住民要望が高く、待機 未満児保育は飯島 方、未満児保育は

け入れている。

案するが。 転新築したらどうか提 育て支援センターを移 以上も考慮して、子

ターは、 町長 たいとの構想がある。 数年のうちには何と 移転していき

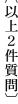
問 ている。 いので、七久保地区に 島地区1カ所で実施し しかし町民要望も多 学童クラブは、飯 である。 と七久保の保育園で受 て活用することも有効 満児保育の受け皿とし センターの部分を、未 ある現在の子育て支援 そこで東部保育園に

戦略計画を立てるに

子育て支援セン

教育長 置を。

所の問題や指導員確保 見極めたい。併せて場 どれだけ必要とするか としたい。 の問題などを多面的に 考え、今後の検討課題 学童クラブを



も学童クラブの通年設



ノビノビと



## 坂本 紀子

# 利用団体の問題は

### 利用組合の責任 町長

る。

内容で問題が生じてい から経営や人事に係る の1つが、昨年の夏頃 活動してきた利用団 この施設で、

当初から

関与していく。 ることがあれば、 問

平成14年に建てた

道

の駅の趣旨に反す

町も

# 町長 向けて協議中である。 現在の状況は この団体は売り上 より良い解決に

ど悪化し、切羽詰って 町に相談にきた。 もつれは時間がたつほ ながら努力してきた。 げが落ちてきた中でも、 マネージャーと相談し しかし、人間関係の

合である。 管理運営責任は利用 用組合に管理を委ねて 定管理者制度により利 応をするべきだったが。 . る。 設置責任は 条例に基づく指 町 組

道の駅「花の里いいじま」

道の駅

「花の里いいじま」

町は早急に的確な対

応してほしい。 は内部で責任を持ち対 の問題。 この話は利用組 第一 義的に 合

> の代表は町外で、規約 に外れていると思うが。 現在この利用団体

町長 づき整理したい。 議した中でけじめをつ ネージャーとも十分協 協定内容などに基 利用組合長やマ

設管理の責任を組合か 道の駅全体の運営と施 マネージャーは、

問

ら任されている。 規約などが法律に適合 機能していなかった。 回の定例理事会は全く しにくい。 していないと問題解決 協同組合的な組織は

町長 連携不足は反省する。 ものか。 働かないとはいかがな う助言すべきだが。 理事会の機能 しかし、 町の が

今後、 て指導していきたい。 設置責任者と

れる。 に

これらを整備するよ

交付しない方向で考え てほしい。 今後、町が補助金を

3

ど今後詰めていきたい。 途にしたい。補助額な ので、3年くらいを目

るだけ自立してほしい。 次は平成28年度。でき ごとに見直してきた。 町長 運営支援は3年 指摘を重く受け止める。

問 約560万円が交付さ ネージメント代として は、今年度も修繕 「花の里いいじま」 指定管理料・マ

町長

「田切の里觨」は

の補助金の期間と金額

道

の駅「田切の里

仮称

はどのくらい

今度は株式会社で、 国の重点指定を受けた。

役

解決をする。大きな資 員が一致協力して問題

本で運営を始める。

最初は経営が大変な

努力をすべき。 あらゆる角度から経営 心に戻り、理事会・利 題をかかえている。 用組合員・利用団体は も落ち、さまざまな問 3年前から売り上げ 初

問 委託していくか、 奮してもらいたい。 できるよう経営陣は発 年過ぎたら独立運営が 営責任を明確にし、 条例及び規則は経 どういう形で運営

理責任は株式会社法人と なるので、協定を結んで と位置づけたい。 人の設立とともにきちん 新年度に入ったら、 委託管 法

でていない。

結論が

以上2件質問

# けられず、 田切の里 消費税8%の影響 慎重な運営を 仮称

復が見込まれていない。 もあり、地方は経済回 人口減少・高齢化は避 経営環境は

チェックもしていく。 決算、予算などの書類の 提出を求めていく。

19

指導



折山 誠

# 子育て支援

貝担軽減は進むか

保育料は特筆

教育委員

長

町長 保育料の軽減を

核に据えた計画とした。 教育・地域との連携を の思いはどのように反 援事業計画」に、 「子ども・子育て支 この4月から始ま 国の施策を一歩 保育・学校 町長 教育長 拡大し、 学童クラブの充実など ポートセンター実施や 的な成果効果ではなく、 のと確信している。 援環境の充実が進むも を掲げた。これにより 金銭的負担軽減と、支 教育は、 ファミリーサ 直近

町長

映されているか。

る 問

進めた点、

うに受け止め、 ているか。 長個人としてはどのよ 評価したか。また委員 問 本計画案をどのように 教育委員会として 期待し

きる環境整備を望む高

下足のまま投票で

町全体の実施計画に表

容を表記した。

予算は、

施策を拡大充実した内

町長

計画は、

従来の

など具体的な数字とし の思いを保育料軽減額

て表記すべきでは。

問

本案は、5カ年の

理想を掲げ、探求して

ることを理解されたい。 行く永続的な営みであ

事業計画である。町長

可能な限り対応させた 子育て世代のニーズに 握し、未来を見据え、 教育委員長 現状を把

問

充実がどの程度進むか。

子育て支援環境の 保護者の負担軽減

> 先駆けて実施する第3 は特筆すべきもの。 子以降の保育料無料化 計画と評価する。 拡充された事業が、 他に

謙虚に受け止め、 ている。 施されることを期待し に反映させていきたい して利用者のニーズを 今後も教育委員会と 計画

る。

投票所の 高齢者対応を

齢者の声がある。 選挙管理委員長 めるが。 環境の高齢化対応を求 地方選挙を前に投票所 統 投票

所は、 公民館などを借

ŋ 用しており、 市町村より先行してい 在は行っていない。 などの弊害が生じ、 きやすい・滑りやすい で試行したが、 低記載台設置など他 は制約される。 当町では、 シート張 車椅子用 つまず 近隣 現

熱意をもって確実に実

足や車椅子乗り入れな ど充分に高齢者・ い者対応ができている。 ぜひ活用し、 期日前投票所は、 棄権し 障が 下

アンテナショップ の改修計画は

問 計画は。 ップの具体的な改修 三鷹台アンテナシ

飯島産物を使用した

では。 料理講習環境、 宿泊環境を整備すべき や販売ボランティアの 関係者

修して、 を整備する。 調理実習環境 主に二階を改

では。 年度に向けて、スタッ 民が店舗に駐在すべき か。町をPRできる町 フの採用をどう考える 問 常設営業となる新

> る。 めの研修も計画してい 飯島を知ってもらうた ト職員も予定している。 採用した。 のある人を主任とし つながりが広く、 募集をした。 現地でスタッフの 経費検 数人のパー 現地での 討 意欲 て

以上3件質問



ないように願いたい。

外は雪にもかかわらず飯島ファンが



昇 本多

# 定員管理の見直しを

### 全体を見ながら検討 副町長

とした根拠は。

副町長 特別会計の人員を10 0人から外した。 標にした。しかし、1 正規職員100人を目 人では無理だと、 合併議論の時 入れている。 町は子育て支援に力を

0

0

べき。 **民サービスに応えられ** 残業手当も半減し、住 る体制づくりを検討す 理化・効率化を図り、 事務の見直し・ 合

職員定数

理を見直す必要がある やし臨時職員を減らし 特別会計も含め定員管

の中で、

正規職員を増

職員の人件費10億円

年度までなので、 の時期である。 現プランは27

> どを念頭に、 を見直していく。 数字目標

ランで、一般会計正規

22年行財政改革プ

人口

「対比・

財政

力な

時16人の36人で24年度 規17人・嘱託3人・臨 から3年間同じだ。 から保育料も軽減し、 待機児童もなく27年 保育士の体制は正

人・臨時職員4人・合人・臨時職員26

た。当時は正規職員 員100人体制と決

計186人であった。

100人体制が適正

側の体制は、 充実した職員体制にす 育士でカバーしている。 子どもを受け入れる 臨時の保

るのか。 なぜ臨時職員にしてい 保育士の業務は同じ

どは正規職員では対応 延長保育・ 教育長 時保育・一時預かり・ えており、 せて対応している。 持った子どもたちが増 発達 それに合わ 休日保育な 課 題 を

、きだ。

り、 0

公務員制度の中 交付税措置が

町は条例化 められている。 で、

あ で

差を手当で是正するも

など気象条件を前提

温暖

な地

域との格

対応している。 ないため、 せて保育の質を落とさ できない。 臨時職員で 実態に合わ

# 田切の里 仮称 公表は

が来たのではないか。 を得るためにも、 うようお願いしていく。 を挙げて支援してもら 談会などで考えを報告 容を公表する。 の規模や事業の全体像 万を住民に公表する時 町長の思いや考え 地元はもとより町 住民の理解と協 3月の広報で内 町民懇 施設

# 職員の 寒冷地手当とは

たが必要性は。 もっと外に使いみちが は町民皆同じなのです。 何なのですか。寒いの の給与に寒冷地手当と 素朴な疑問を寄せられ まえと思います。』 若者が減るのは当たり あるのでは。飯島町の いうのがあるのですが 住民から『町職員 ع

職場の風景

担当職員の配置は、 にも良いと考えるが。 止した方が職員のため 員を活用してほ 地 域 の側 いから担 廃

以上4件質問

寒さ・雪の量

# 地区担当職員は 必要か

ている。 例会で意見を聞く。 を聞いてくる。担当者 事に参加する。 問 であるからには当然で ある。』と住民は思っ 者に広報を届け、 耕地・自治会の 未加入 意見

形だけになっている



三 浦 寿美子

制度改正への対応は

在宅サービス充実で

町

長

介護保険

題は。 たか。 どのように変化してき されてきた。15年間で 介護保険の利用状況は 計画は3年ごとに見直 町の介護保険事業 また、 特徴と課 加した。

町長 護認定者は支援を含め 約半分でスタートした。 00万円と比較すると 成2年度予算9億50 322人。年間介護給 1万1182人、 付費は約4億円で、平 15年前の人口 要介 は

設置。 域包括支援センターを 重視の方向になり、 平成18年に予防事業 地

で医 化された。 認知症対策の推進が強 平成24年度、 平成23年の制度改正 |療・介護の連携、 介護認

12年間で500人に増 定者数は300人から、

問

められている。 える介護保険制度が求 打ち出され、 支援体制の整備が強く 今回の改正で、 地域で支 生活

**\** 加算されても2000 で、 万円減収の見込みと聞 問 国の介護報酬引き下げ 100床の特養で 上伊那福祉協会は

うけるのか。 民はどのような影響を 通所介護と訪問介護が 今回の制度改正で町 要支援1・2の

ら実施する予定だが、 離される。 介護サービスから切り 町では平成29年度か

引き続き同じようなサ をしていく。 う各事業所と検討研究 ービスが提供できるよ

護3以上となるが、 例措置があり上伊那統 の基準で対応してい 特

特養の入所は、

要介

は、 となる。 担がこの8月から2割 所得が一定以上の人 サービスの自己負

なる。 預貯金も含めて対象と 預貯金と配偶者所得・ 食費が、本人所得・ 施設入所者の住居費

額される。 報酬単価が2・2%減 介護サービスごとの

られるが介護施設の経 用の自己負担額は抑え その結果サービス利

得ない。 いるが、 営は苦しくなる。 議あり」と声を上げて いるので対応せざるを 全国の自治体が「異

問 整っていくのか。 での介護、医療体制は 医師不足の中で、在宅 い状況がさらに進む。 療を選択せざるを得な 在宅での介護、医

が 町長 は地域包括支援センタ 0) の専門員が行う。 相談窓口。 地域連携室や看護師 退院支援は病院 介護認定

循環バス運行

住民要望は

問

循環バスの運行方

ス事業所が充実してき ある。自宅で介護の場 など選択肢はいろいろ ている。 合も町には介護サービ 老健や療養型の病院 連携して在宅

町長

さまざまな要望

されたか。

折り込まれていた。 法が見直され、広報に

住民要望はどう生か

対策協議会で検討した。 が寄せられ、生活交通 法律は通って

サービスの充実に努め 運行しなければならな 「道路運送法」に従っ 7

たい。

行する。 式で、 乗車時間が短縮できる。 するエリアデマンド方 した。町内全域を運行 23カ所バス停を増設 予約が入ると運 目的地までの

1年実施し、

ば見直す。

以上2件質問



ご予約は86-2500まで

22



稔 浜田

# 安い焼却炉に

# 総合点で溶融炉

# 町長

ゕ゚ の理由は がずさんではなかった だ。今頃変更とは検討 下に敷いた遮水シー トが破れる懸念 掘り起こし中止

燃やせないプラスチ る ック棒が埋まってい

だった。処分場が40年 などが昨年判明 水銀が含まれてい 重 な検討が必 る 要

になり、 も感じお詫びする。 者の一人として、 が20年前後という結果 域議会などでも指摘 問題点は以前から 広域連合理事 責任 る可能性は無いのか。

施設

持つとも説明してきた

は以前に処分場を視察 とのことだが、 されてきた。昨年判明 専門家 問

問 だった。 も 察しているが、 分を調べるだけの目的 疑問がある。 専門家の公平性に ごみ成

フ年前に決めた計画

の寿命も方式で2倍違 埋立てごみ量には2倍 作してこの違いを伏せ うはずだが、数字を操 の開きがある。 定対象に残っているが 2つの溶融方式が選 処分場

は』との発言もある。 ている。また溶融炉の 受託事業者に与えて が『買電収入の一部を 廃熱で発電する計画だ 定して検討を進めてい 特定のメーカーを想 問

町長 政策審議会や専門委員 信頼するしかないが と考えている。 会は公正に選任された 専門的な部分は が。 ざまな町民要望実現に

振り向けることを願う

備専門委が4年前に視 施設整 \*2焼却炉に決めた。下 るので施設更新では を超える巨額事業だ。 溶融炉処理してきた 下伊那ではこれまで 費用がかかりすぎ

埋めたごみを掘り起こ

画に変更があった。

住民税務課長

していたのでは。

融炉で総額250億円

伊那のごみ処理

して溶かす方針を中止

那の施設を計算すると 上節約できるが 焼却炉なら50億円以

○度でガスにして燃やし、灰\*- 溶融炉 ごみを約130 度で鉄格子の上で燃やす \*2 焼却炉 ごみを約800 を溶かして固める

町長 事者会で了解している より安いとの説明を理 費用も含めると焼却炉 量が減る。 に比べて埋立てのごみ 溶融炉は焼却炉 埋立て場の

査が必要だ。 事業費を抑え、 その説明根拠の さま

備を進める。 町長 減でごみ処理施設整 徹底したコスト

ごみ処理施設は溶

# 町 の農業を どう守る

は現場の声を聞

いてい

今回

0

国

の農政

ないと危惧している。

伊那の検討資料で上伊 農協解体などだ。 地集積化、米価政策 中間管理機構による農 る。TPP推進、 業政策を打ち出してい 国が矢継ぎ早に農 農地

> タートするのは本末転 民意と違う原案からス

産業で、 成している。 ず町の多面的な基盤を 多いが、町長の所見は。 農業は町の基幹 生産のみなら

村の立場を主張してい 声を大きくして農業農 規模拡大の名の下に中 ならないと考える。 山間農地を脅かしては 全国町村長会などで T 商社や大法人が、 PP反対はもちろ

の行く末を案じる声が

町民の間では、

農業

以上2件質問



守りたい農村風景

このページは町民の皆さんに取材協 力をお願いし、町政や議会への意見や 感想を掲載しています。

今回は、筝曲クラブ丸山浩隆さんに 登場していただきます。

# 央公民館で講座が開講 公民館講座から誕生 平 成 17 飯島町

とか「一度和楽器に触 れてみたかった」とか の琴や三味線がある」 され「家に眠ったまま 「人が少ないのでと頼

> まな動機の30~70歳代まれた」とか、さまざ っています。 動をはじめ、 ら「筝曲クラブ」とし の男女が集まりました。 て自立したサークル活 しましたが、 講座は三ヶ月で終了 現在に至 翌年度か

> するようです。脳ミソ と「無の境地」に突入 今では、この譜面を追 のです。 がすっきりするように いかけて演奏している 癒されます。 楽譜が 最初に驚

でも、 縦書

、慣れた

たの

は

げようと頑張ってい そは「いいちゃん文化 年に一曲を何とか仕上 祭」で発表できるよう、 思われます。 いえませんが、 レベル自体は高い 今年こ ま

れば、 た活動がより盛んにな 動しています。そうし 化グループが熱心に活 ブにつながりますよね 飯島町では多くの文 町のイメージアッ 個人の楽しみで

外で教わるより安くて

囲気で、文化的で、

町

正 竹上一彦氏誤 竹上和彦氏

いい音色で、

11

いい雰

言うことなし! 興味

練習風景 ~この日は2人欠席でした~

お仲間大募集中

見に来ませんか。 のある方、おけいこを

お気

議長

松下寿雄

発行責任者

軽にご連絡ください。

3

◎浜田 編集委員

〇橋場

北沢

折

竹沢 本多

5725丸山)

ŋ だけど」と、昨秋加 いこしています。うち 人大学センターでおけ 一人は「楽器は初めて メンバー は現在六 飯島成

私たち筝曲クラブは「お箏(琴)」と

**奦でて楽しんでいるグループです。** 

ますが、

お三弦(三味線)」の、和の音色を

もあるし現代曲もあ練習する曲は、古 ストレス解消に最高 本当に音色 ったばかりですが、

おりです! な?若さは写 と言うと、年配で、 ティブな方も多いか われがちですが、アク されるでしょう。 しとやかで…などと思 和楽器をやっている 真のと お

田早祐梨先生が明るく来てくださっている篠水にしろ箕輪町から っています。 楽しくやさしい先生で 破 いのか) 教えてくださ (こんなこと書いてい 格のレッスン料で

します。 者氏名に誤りがありまし た。お詫びし、 68号6ページ陳情提出 訂正いた

# 後 記

平成27年度の全会計予算総額は口口億6669万円です。 口口に入る文字は何でしょう。

# 5名様にいいちゃん商品券進

株の私もじきに追い 越 古 わ

あなたの声を議会だよりに 🏗 0265 (86) 3111 内線230 FAX.86-4395 e-mail gikai@town.iijima.lg.jp